



昔、娘のきれいな乳歯の歯並びを見て「きれいなね。永久歯もきれいなよね」と言う妻の問いに、何も言えず首を横に振ったのを良く覚えている。



昔々、乳歯は離れて生えている「すきっぱ」が普通であった。前歯は乳歯と永久歯の大きさが著しく異なり、永久歯の方が大きい。だから「すきっぱ」でないと永久歯が正しく生えるスペースが得られない。ところが近年は、上顎の骨の幅径の発達が悪くスペースがほとんどない。それどころか、乳歯の段階で叢生

## 乳歯きれいでも注意を

□□ 30 □□

(歯のガタガタ) になっていることも多い。

前歯がきれいに生えても安心はできない。乳歯と永久歯の大きさが大きく違う犬歯が最後に生え変わるためである。以前は八重歯になったが、最近ではスペース不足が大きいため、歯が埋伏したり、横に倒れてしまう。

こうなると非常に治しにくく、治療も大変である。治療としては顎の拡大が適切だが、中学生になると上顎の骨の二つの骨が癒着し成長が止まるため、小学生の時に治療を始めた。そうすれば永久歯を抜歯しないできれいな歯列にすることが可能だ。顎の拡大による治療は、付加価値として、呼吸器系の疾患が少なくなることも多く経験している。

うまく生えるかどうか心配であれば自己判断しないで、小児歯科や矯正歯科で相談することをお勧めしたい。乳歯列できれいでも、永久歯できれいになるかどうかはわからない。